

グループ名変更時の影響および変更手順

対応バージョン

SSC1.3 以前

概要

SystemProvisioning でグループ名 / サブグループ名を変更する場合は、ジョブが実行されていない状態で行なってください。グループ名 / サブグループ名を変更した場合、DeploymentManager および、SystemMonitor 性能監視に影響があります。ご利用の機能により、以下の設定変更が必要となります。

【DeploymentManager】

●SSC1.3

SystemProvisioning で仮想マシンを稼動した際に DPM に自動登録する設定をしている場合は、DeploymentManager に登録されている VM のグループ名を変更してください。

(SystemProvisioning のグループのプロパティにて「VM 作成時、DPM に登録」にチェックを入れている場合、DPM への自動登録が設定されています。)

【変更手順】

- 1) DeploymentManager の Web コンソールを開きます。
- 2) 更新権を取得します。
- 3) SystemProvisioning で変更したグループ名/サブグループ名を含む、DeploymentManager のグループを右クリックし「グループ名の変更」より変更してください。
- 4) 更新権を開放します。

注：更新権取得中は SigmaSystemCenter から DeploymentManager の機能が使用できません。そのため、SigmaSystemCenter からのシャットダウンやリソース割り当てなどの処理がエラーとなります。

●SSC1.2 以前

SSC1.2 以前のバージョンでは、仮想マシンを DPM に自動登録する機能はありません。そのため、設定変更は必要ありません。

【SystemMonitor 性能監視】

●全バージョン共通

SystemMonitor 性能監視で、SystemProvisioning のシステム構成情報の反映機能を利用している場合は、SystemMonitor 性能監視で設定されているグループパスを変更してください。

(環境設定ダイアログの SystemProvisioning タブで「SystemProvisioning からの自動構成反映を有効にする」にチェックを入れている場合、システム構成情報の反映機能が有効となっています。)

【変更手順】

- 1) SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを起動します。
- 2) ツリーペインから対象の管理サーバを選択し、右クリックメニューから環境設定ダイアログを起動します。
- 3) SystemProvisioning タブを開き、「SystemProvisioning からの自動構成反映を有効にする」が ON になっている場合、

OFF にしてダイアログを閉じます。

- 4) SystemProvisioning 運用管理コンソールで名前を変更するグループに対応するグループのサーバグループ設定を開き、パス情報を変更後の SystemProvisioning グループパスに変更します。
- 5) 全ての対象グループのパス情報を更新した後、SystemProvisioning からの自動構成反映機能の ON/OFF を元の状態に戻します。

作成日:2008/06/30

更新日:2010/06/25